

Access

【伊是名島までの交通案内】



- 車でご利用の場合**
- 那覇空港から今帰仁村運天港までタクシー・車で2時間弱
 - 沖縄自動車道/那覇IC→許田IC(名護)→運天港まで約1時間30分
 - 名護市内から運天港までタクシーで25分～30分

- バスご利用の場合**
- 那覇空港→那覇バスターミナル [那覇交通]
 - 那覇バスターミナル→名護バスターミナル [名護西空港線]
 - 名護バスターミナル→今帰仁村ワルミ入口バス停 [那覇半島線(今帰仁廻り)] (所要時間: 30分) 沖縄バス・琉球バス(2日交替)
 - ワルミ入口バス停→運天港 ※ワルミ入口はタクシーが拾いにくい場所です。

- 高速バスご利用の場合**
- 那覇空港→名護バスターミナル

伊是名島内での交通

伊是名レンタカー TEL: (0980) 45-2394

詳しくは 伊是名レンタカー Q 検索 <https://izenarental.tl-dn.net/>

多言語版はコチラから

IZENA ISLAND TRAVEL INFORMATION

伊是名島観光トラベルインフォメーション

2020.10 現在

●運航表

| 運航表 | 仲田港発 | 運天港発 |
|--------|----------------|----------------|
| 1便(午前) | 9:00発 ▶ 9:55 | 10:30発 ▶ 11:25 |
| 2便(午後) | 13:30発 ▶ 14:25 | 15:30発 ▶ 16:25 |

*出港10分前までに乗船して下さい。

●旅客運賃表(消費税込)

| 片路 | 往復 |
|----------|-----------------|
| 大人(伊是名島) | 1,840円 / 3,500円 |
| 小人(伊是名島) | 920円 / 1,750円 |
| 一般 | 1,660円 / 3,320円 |
| 学生 | 1,290円 / 2,580円 |
| 小人 | 830円 / 1,660円 |
| 大人 | 920円 / 1,840円 |
| 小人 | 460円 / 920円 |

●自動車航送運賃(運転手・消費税込)

| 片路 | 往復 |
|----------|-------------------|
| 3m未満 | 5,380円 / 10,230円 |
| 3~4m未満 | 6,850円 / 13,020円 |
| 4~5m未満 | 8,480円 / 16,120円 |
| 5~6m未満 | 11,020円 / 20,940円 |
| 6~7m未満 | 13,880円 / 26,380円 |
| 7~8m未満 | 16,620円 / 31,580円 |
| 8~9m未満 | 18,510円 / 35,170円 |
| 9~10m未満 | 20,520円 / 38,990円 |
| 10~11m未満 | 22,250円 / 42,280円 |
| 11~12m未満 | 23,990円 / 45,590円 |
| 1m増す毎に | 3,580円 / 6,810円 |

●手荷物(消費税込)

| 運賃 | |
|---------|--------|
| 受託手荷物運賃 | 140円 |
| 特殊手荷物運賃 | 710円 |
| 原動機付自転車 | 1,400円 |
| 二輪自動車 | 2,250円 |

船舶についてのお問い合わせ (市外局番:0980)

伊是名村仲田港ターミナル ☎45-2002 ☎50-7065

今帰仁村運天港船舶連絡事務所 ☎56-5084 ☎56-5035

お問い合わせ (市外局番:0980)

伊是名村役場・・・ ☎45-2001 / ☎45-2467

伊是名村役場 商工観光課 ☎45-2534 / ☎45-2823

(一社)いぜん島観光協会 ☎45-2435 / ☎45-2360

伊是名村商工会・・・ ☎45-2475 / ☎45-2306

緊急連絡先 沖縄県消防指令センター ☎119

警察への事件・事故の急報: ☎110 火事・救助・救急車: ☎119

海上の事件・事故の急報: ☎118 災害用伝言ダイヤル: ☎171

悠久の島 伊是名島 観光ガイド

沖縄県・伊是名村

<https://vill.izena.okinawa.jp>

尚円王(金丸)関連史跡

尚円王御庭公園・みほ所 案内図

尚円王生誕地屋敷内みほ所

尚円王生誕の地で、への尾(齋帯)が屋敷内の大石の下に埋められているということから「みほ所」と呼ばれ、島の聖地となっています。

尚円王御庭公園

尚円王生誕580(イイチャウ)年を記念して整備された公園。みほ所の背後地にあり、村出身の版画家・名嘉睦絵師制作による若き日の金丸(尚円)像が建立されています。

逆田(さかた)

金丸が農業を営んでいた当時、この水田は水が溢れることがなかったといいます。そのため、ほかの農民からは「水田様」の異名を付けられてしまい、身の危険を感じた金丸は、沖繩本島へと渡ったといわれています。

伊是名村ふれあい民俗館

伊是名は、第二尚氏王統の始祖、尚円王生誕の島として、他の島では見られない貴重な史跡や文化財が遺されています。伊是名村ふれあい民俗館は、こうした先人たちが残した文化遺産を後世に正しく伝えるために、平成2年度国土庁のリフレッシュふるさと推進モデル事業の一環として開設しました。

尚円王通水節公園/尚円王乗馬像

尚円王生誕600年祭を記念して2014年12月に通水節公園を開園し、同時に乗馬像を建立しました。尚円王乗馬像は、愛しい彼女との逢瀬を喜びながら語りながらに時間が経ってしまい、泣く泣く彼女を送った後、その余韻に浸りながら我が家諸見邑(しよみむら)へ帰る道すがら、北(にし)の松金(尚円王)は思わず勢舞客邑(じっちゃんむら)を振り返ってしまふ光景を表現しています。

銘苅家住宅(国指定重要文化財)

銘苅家住宅は、尚円王の叔父(弟の弟)にあたる家系の家で、明治39年に再建されました。沖縄戦の被害を免れたことで保存状態も良く、昭和52年(1977年)に国指定重要文化財(建造物)に指定されました。

伊是名島産品

- 白釉巴紋茶壺
- 黄色地巴紋御玉貴
- 朱漆箔巴紋食籠

尚円王生誕の地

琉球国の第二尚氏王統は、一四七〇年から明治の廃藩置県(一八七九年)に至る四〇九年間の長きにわたり琉球王朝を築きました。このような長期政権は、歴史上、江戸幕府をしのぐぐたぐいまれな政権でありました。同時に、琉球国独自の文化が育まれ、伝統的に継承されてきました。

第二尚氏王統の始祖尚円王(金丸)は、伊是名島の諸見で呱呱の声をあげ、数々の伝説を残しました。

金丸(北ぬ松金)が、この地を後にして王位に就くまでの一大歴史ロマンは、広く知られています。

歴史

第一尚氏王統(四七〇～一七九)の始祖尚円王は、伊平屋島(現在の伊是名村・伊平屋村)の総統の出自で、また、三山を統した尚巴志王(第一尚氏王統)四〇六～四六九の祖父敏賢川大主は、伊是名城主だったと伝えられています。尚円王誕生以降、伊平屋島は別格の扱いを受けて大御殿の直轄領となりました。

この頃から「いひやぬ島々(七島)」「いひやぬなはなはなり」は、一つの行政区として取り扱われ「伊平屋島」と総称され、番所は伊是名島(現在の伊是名島)に置かれていました。

明治二年(一八七九)の廃藩置県で郡区制度となり、明治四一年に那覇区伊平屋島、明治四二年に島尻郡伊平屋島、明治四一年の島嶼町村制度になって島尻郡伊平屋村となりました。その後、分村運動が起り、昭和四一年(一九三九)七月一日付の分村許可命令により島尻郡伊是名村と島尻郡伊平屋村に分村し、それぞれ単独行政となりました。

昭和四七年に字諸見から分字した内花区が誕生し、5自治区となりました。

第二次世界大戦が起り、敗戦後は、沖縄が日本から行政分離され米国の統治下となりましたが、昭和四七年五月五日に施政権が返還された今日に至っています。現在の村名は、「沖繩県島尻郡伊是名村」となります。

40歳に西原間切(現・西原町)の内間領主に任命される

45歳で御物御領官(貿易長官)に就任

54歳で要職を離れ、領地の内間へ還運する

臣下たちにより、隠遁先から首里に迎えられる。56歳で即位し、尚円と名乗る

当初は下役であったが、直ちに頭角を表し、38歳の時に黄冠に昇る

27歳(現・名護市・越來)に、沖繩市)などを経て首里(現・那覇市)に到着する

24歳の時に妻と弟を連れて赴き後に、宣名真(現・國頭村)へ渡る

伊是名島の諸見(現・字諸見)で産まれる

金丸(尚円王)の足跡

王位に就くまで

島の特産品

農作物は、サトウキビを中心に稲作や各種の野菜類を栽培しています。水産業では、モズク養殖が盛んに行われています。

漁業 農業

常盤

伊是名産のもずく・海ぶどうを産地直送で販売しています。

いぜんまーさむんショップ <http://izena.tl.shopserve.jp>

したいひやー!!

島むんがいっぱい!

祭り・イベント・伝統芸能

1月 ハーリー競漕

2月 いぜん88 トレイルアスロン

3月 いぜん尚円王まつり

4月 五御殿公事清明祭

5月 ムッカマビー

6月 各家旧内丹豊年祭(ウンナー)

7月 尚円木鼓

8月 伊是名村福徳の日

9月 土着

10月 くれんちや(三祭り)